

☆音楽ベース

→ 10月19日(水) くもり

→ この日、町の守り神・福富神社に
地元の人々が集まった

→ 年に一度、五穀豊穣を願う

「白石おくんち」が行われる

→ 片淵さんの願いはただひとつ…

→ 良質のレンコンを作り続けること

→ 神社での奉納を終えたら

地域を練り歩くのが習わし

→ ご近所さん みんなの幸せを願って

→ 11月3日(木) はれ

2030

N 11月。佐賀に秋の風物詩がやってきました。

→ 佐賀市は熱気球大会の開催地として

世界的に知られている

→ 世界中のパイロットたちが愛してやまない

大空・大地・穏やかな気候

→ 「熱気球のオリンピック」

とも言われる世界選手権

→ 大会期間中31の国と地域を代表する

105機の熱気球が大空を飛んだ

→ 12月25日(日) くもり ときどき はれ

2 4 0 6	N え? どうした?
2 3 4 5	(ON) 「うわむー」 N うまくできるかな?
2 3 3 9	N 乾燥を防ぐために、ビニールのシートをかぶせます。
2 3 3 5	N レンコン、山盛りです。 (レンコンを積んだ) 船を上げてから」 何を? ちよっと上げてからね 汚れるって ちよっと待って待て シートかぶせる (ON) 「何をする?」
2 2 5 8	N ついに、えにし君がうごきました。
2 2 4 7	N 立派に育ったレンコンが次々収穫されます。
2 2 3 5	N その様子を見ているのは、縁くん。今日もお手伝いかな?
2 2 1 1	N 温暖な南国九州でも真冬の気温は10度以下。水温はさらに低いたため体の芯から冷える過酷な作業です。
2 1 4 9	N 夏から秋、冬と時期を分けて続く収穫。 緑色の葉が生い茂っていた、夏の収穫とは全く違う景色です。
2 1 3 4	N 年の瀬。お正月用の品を待ちわびる全国のお客さんのために白石のレンコン農家は、1年で最も忙しい時期を迎えます。

2 4 1 6	N どうやら、泥のヌメヌメした感じが 苦手だった様子。
2 4 3 0	(ON) 「あの辺の水がまだ透明だから 『あそこで洗え』ってこと?」
2 4 3 8	N ははは(笑)、縁くん、まずは第1歩かな?
2 5 1 2	N 年末の収穫は日が沈むまで続きます。
2 5 2 5	N 年の瀬に、追い込みで収穫したレンコンは トラックで運ばれ集荷場へ。
2 5 3 2	N ここから、日本のお正月を彩る食卓へと運ばれます。
2 5 5 3	N 片刈家の仕事納めまであと2、3日。 もうひと踏ん張りするために、 夕餉 <small>ゆうげ</small> は英気を養うひと時です。
2 6 2 1	N この分厚さ。 冬どれのホクホクしたレンコンはおでんに最適です。
2 6 4 2	(ON) 「いただきます」 縁くん、満面の笑顔。 (ON) 「冬場はおでんのレンコンが最高ですね やっぱり豊作の時の方が味もいいですね」 N 1年中お忙しいと思いますが、年末はまた1段と・・・ (ON) 「レンコン農家にとっては 1年の締めであり一番大事な時期 収入の面でも一番大事にしてきた これが終わらなかつたら正月が来ない」

2712	<p>N 人手不足の地域も多いようですが、この辺りはいかがですか？</p>
2745	<p>(N) 「白石町の中でも福富っていうこの地域は後継者が育っていますね 30代、40代の後継者が多いですよ」</p> <p>N さらに若い世代もいるしね、縁<small>えだじ</small>くん。</p> <p>(N) 「将来サッカー選手だもんね なれるか分からん なれなかったらレンコン」</p>
2801	<p>N つかの間のゆったりした時間が、流れます。</p>